

2-1 プレクサスの実施状況について（2020年度実績）

No.	市町村名	所管課	①スクール・クラス名	②実施形態	②-3（委託・補助の場合）委託・補助先名称	③国の補助金の活用の有無	③-1 補助金名	④対象年齢	⑤定員	⑥実施場所	⑦内容（実施期間、実施回数、カリキュラム、主な内容等）							⑦-8 カリキュラム（主な内容）	⑧課題
											⑦-1 教室開設期間	⑦-2 一人当たりの通室期間	⑦-3 一人当たりの通室回数	⑦-4 1日あたりの時間	⑦-5 参加人数（1月末までの累計）	⑦-6 参加者の主な国籍	⑦-7 語彙テストの実施の有無		
1	名古屋市	教育委員会指導部指導室	初期日本語集中教室	直営		有	文部科学省 公立学校帰国・外国人児童生徒に対するきめ細やかな支援事業	小中学生	定員10人程度×2か所	名古屋市立宮前小学校内及び名古屋市立東海小学校内	休業日を除き年間を通して開室	約3か月	約60回	約2時間	109人	国籍不問 ※但し、名古屋市立小中学校に在籍している者に限る	無	「音声」「文字」「語彙」「文法」「読解」「聴解」「作文」の項目を柱にしている。	・4月、9月など学期当初に希望が集中するため、入級まで待機する児童生徒があること。 ・小学生は保護者の送迎が必要だが、保護者の仕事の都合で送迎できず、希望しても入級できない点。
2	豊橋市	豊橋市教育委員会学校教育課	初期支援コース「みらい東」「みらい西」	直営		有	教育支援体制整備事業補助金（帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細やかな支援事業）	中1～3年（13～15歳）	15人	豊橋市立豊岡中学校・羽田中学校	休業日を除き年間を通して開室	10週	約40回	5時間	みらい東：16人、みらい西：6人	ブラジル、フィリピン	無	日常会話、日本語の読み書き、数学や英語の基礎等	・初期支援コース修了後、在籍校に通い始め、初期支援コースのように支援がされない状況に、やる気をなくしてしまふ生徒も少なくない。 ・在籍校での国際教室担当教員の指導に対する力量ややる気により、初期支援修了後の外国人児童生徒の成長に差が出てしまう。
2			初期支援コース「きぼう」	直営	有	小3～6年（9～12歳）		25人	豊橋市立岩西小学校	休業日を除き年間を通して開室	6週	約27回	5時間	きぼう：25人	ブラジル、フィリピン	無	日本の小学校生活への適応指導や基本的な学習指導、サバイバル日本語指導、算数の基礎等	・保護者の送迎が困難で通学手段がなく、初期支援コースに通えない児童もいる。 ・日本語指導が必要な児童生徒数に対し、教員や相談員の人数が少なく十分な支援ができていない。	
3	岡崎市	教育委員会学校教育課	日本語初期指導教室「希望」	直営		有	教育支援体制整備事業費補助金	10歳から15歳（小学4年生から中学3年生）	40人程度	市内中学校内（岡崎市立南中学校）	休業日を除き年間を通して開室	約3か月	48回	6時間	48名	ブラジル、フィリピン、中国	DLA	・日本語（文字、語彙、基本文系、会話） ・数学（個に応じた四則計算、文章題など） ・英語（日本語訳を中心とした内容） ・基本的な学校生活	・設置場所 ・日本語教育講師で対応できない言語の児童生徒への指導 ・児童生徒が卒業した後のフォロー
4	瀬戸市	学校教育課	日本語初期指導教室	直営		無		6歳から15歳まで	なし	拠点校：瀬戸市立原山小学校、瀬戸市立下品野小学校	休業日を除き年間を通して開室	約1か月	約15回～20回	3時間	12人	ブラジル、フィリピン、ペルー、中国、スリランカ、インドネシア	独自で作成したもの	手作りプリントなどで、ひらがなの勉強。数字を1～10まで。あとは学校で使うもの、身体の名前、その位置、形、色、様子（形容詞）の言葉学習します。	初期指導教室は市内に2小学校に開設しており、その教室へ外国人の子どもが毎日登校して授業を受けるシステムになっている。しかし、昨今教室まで送り迎えができない家庭が増え、その代わりに指導員がその日の学校まで巡回訪問している。荷物もあり、移動の時間などでロスが多い。また、最近では市内各地に家をかまえる家庭が増え、以前は住居が集中していたが今は市内のいろいろな学校に転入するケースが増えた。外国人が少ない学校へ転入することが多く、現場の指導や巡回が増えている。
5	豊川市	市民協働国際課	豊川市こぎつね教室	直営		有	文部科学省 令和2年度教育支援体制整備事業費補助金（帰国・外国人児童生徒等教育の支援事業）	6歳～15歳	50人（プレスクール・プレクラス合計）	豊川市諏訪3丁目300番地プリオビル5階こぎつね教室	毎週月～木（金・土・日・祝・年末年始は休み）	入室してから6か月	24回	2時間	46人	ブラジル、ベトナム、フィリピン等	市独自の50音テスト	・日本語の初期指導（ひらがな、カタカナ、漢字、物の名前など） ・初期算数 ・日本での生活を前提とした文化体験、学校での生活ルール指導など	特になし
6	碧南市	学校教育課	日本語初期指導教室（通称：いっば教室）	委託	認定特定非営利活動法人 プラス・エデュケート	有	帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業（Ⅱ定住外国人の子供の就学促進事業）	小学1年生～中学3年生	60人（各学期20人）	各小学校隣接の児童クラブ	休業日を除き年間を通して開室	約3か月	3か月間毎日	4時間	41人	ブラジル、フィリピン、ベトナム、中国	DLA	日常生活及び学校生活に最低限必要な日本語と漢字、算数	初期指導教室の課程を修了した児童生徒が、学校の授業についていけないような、もう一段階レベルアップした内容の日本語教育の場が必要。各学校の日本語指導担当教員による取り出し指導の充実も含めて課題としてとらえている。
7	刈谷市	学校教育課	プレクラス	直営		無		刈谷市内の小中学生	随時	朝日小学校、かりがね小学校	休業日を除き年間を通して開室	児童・生徒により異なる	児童・生徒により異なる	45分	32人	ブラジル、フィリピン	無	日本で生活するために必要なこと（マナーや文化、学校でのルールなど基本的な生活習慣）を学んでいる。年齢が高い児童生徒には必要に応じて、教科につながる読み書き算について学習している。	
8	豊田市	教育委員会学校教育課	ことばの教室	直営		有	令和2年度教育支援体制整備事業費補助金（帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細やかな支援事業）	市内小・中学校へ外国（外国人学校含む）から編入した児童生徒（小1～中3）	必要がある児童生全て（人数の上限を設けていない）	市内小学校内3か所	休業日を除き年間を通して開室	編入後3～4か月	週5日間	5時間	36人	ブラジル、フィリピン、ペルー	無	・1週間あたり、日本語10時間、文字8時間、算数・数学5時間、総合（図工・体育・習字・適応等）2時間 ・学校の日課にあわせ、朝の会や帰りの会、給食、清掃等も行う ①日本語初期指導 ・ひらがな、カタカナ、小1～2年程度の漢字の読み書きができる ・保護者の送迎を原則としているため、送迎者がいない場合は通うことができず、直接学校へ編入させるを得ない場合があること ②教科の補充 ・学年相応の基礎的な四則計算ができる ③学校生活への適応 ・当番の仕事（日直・給食・清掃等）ができる ・1日の学校生活の流れがわかる ・行事の意味がわかる	・国籍、年齢、編入時期等、全てにおいて個別対応が必要であり、対応が困難であること ・何時、何人の編入があるか等の予測が立たず、運営が困難であること ・保護者の送迎を原則としているため、送迎者がいない場合は通うことができず、直接学校へ編入させるを得ない場合があること ・専門的な知識をもった指導者の確保が困難なこと
9	安城市	学校教育課	日本語初期指導教室（わかば教室）	委託	特定非営利活動法人 トルシダ	有	愛知県外国人児童生徒日本語支援事業補助金	6歳（小1）～15歳（中3）	30人	安城市立二本木小学校、安城市立今池小学校	4月下旬～3月下旬	3か月	週5日	5時間	37人	フィリピン、ブラジル、インドネシア	無	ひらがな、カタカナの読み書き、小学校低学年程度の漢字、数字、日常会話	初期指導教室を設置しているのが、市内で2校しかなく、人数制限がある。そのため、通室を希望しても自宅から近い学校に通室できない場合がある。（もしくは通室自体できない可能性もある。） ・学校を巡回して支援するにあたり、支援員の人員が不足している。
10	西尾市	西尾市教育委員会学校教育課	日本語初期指導教室カラフル	直営		無		小学1年～中学3年	なし	日本語初期指導教室カラフル（西尾市立鶴城小学校内）	通年（夏季・冬季・春季休暇2週間前開室）	3か月	平均40回	390分	35人	ブラジル、フィリピン、ベトナム、ペルー	DLA	文字（ひらがな・カタカナ・漢字）、会話、読解、作文、計算、教科の導入（社会・理科・算数・数学・英語など）、音楽（歌と楽器）、学校生活（日直の仕事、給食、掃除、放課、配布物の整理、宿題の習慣化など）	・言語が多様化してきているが、それに対応でき、質の高い教育を行える支援員の確保に苦慮している。 ・児童生徒が市内各所から通室してくるが、交通不便で、保護者の送迎ができないため、通室できないこともある。
11	蒲郡市	教育委員会学校教育課	日本語初期指導教室 きぼう	直営		無		6歳～15歳	20人程度	塩津中学校中校舎3階	休業日を除き年間を通して開室（月、火、水、金曜日）	3か月	約48回	8：45～12：00	13人	フィリピン、ペルー、中国	無	120時間プログラム	語学補助員では対応できない言語の生徒が参加してきたときがります。
12	小牧市	学校教育課	日本語初期指導教室（にじっこ教室）	直営	日本語初期教室ににじっこ教室	有	帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細やかな支援事業（補助事業）	6～15歳（小1～中3）	なし	本室：小牧市立大城小学校内（小牧市城山3-8） 分室：適応指導教室「カルミア」内（小牧市岩崎250-1）	4月上旬～3月下旬（入式後から修了式まで）	最長3か月	約60回（3か月で通級する日数として）	9：00～14：50	17人	ブラジル、ペルー、ボリビア、フィリピン、中国、ベトナム	無	・学校生活に必要な最小限の日本語、簡単な日常会話等 ・ひらがな・カタカナ・漢字（小学校1年生程度）等 ・日本の学校生活のきまりや文化等 ・学習支援（算数・数学）等	
13	新城市	学校教育課	日本語初期指導教室「きぼう」	直営		無		6歳～15歳（小1～中3）	特に設けていないが、担当が1人のため5人程度	新城市立千郷小学校	10月～3月（令和3年度以降は4月～3月予定）	最長3か月	最大48回（週4回×12週）	3時間	4人	ブラジル	無	あいちの外国人児童生徒教育連携事業「日本語初期指導教室の在り方」フレット：生き生きと学校生活を送るために120時間（60日間）プログラムをもとに、個々の状況に応じたカリキュラムを行っている。	本年度からの新規事業のため、体制を整えていく段階である。コロナ禍で新規入学の児童生徒が少ないので、プレクラスというよりも、在籍児童の支援が中心となっている。今後、コロナが終息し、新規入学が増えた場合に対応できるように、指導員のスキルアップを図る必要がある。
14	知多市	知多市教育委員会学校教育課	知多市日本語初期指導教室「えがお」			無		知多市の小中学校に就学している外国人児童生徒	なし	知多市立つつじが丘小学校内	休業日を除き年間を通して開室	3か月～1年	小学生：2コマ/日 中学生：3コマ/日	45分/コマ	9人	ブラジル、フィリピン、ベトナム	無	（公財）三重県国際交流財団 発行「新版 いっしょにまなぼう みえこさんのほんごれんしゅうちょう2」等をもとに知多市独自で作成した日本語初期指導カリキュラム 学校生活適応指導（学校のきまり、あいさつ等）ひらがな、カタカナの読み書き、作文、数字の教え方など。独自作成の到達度確認テストあり	・つつじが丘小学校区外の児童生徒の通学方法（原則、保護の送迎だが送迎できない場合） ・児童生徒の母国語が多様化した際の通訳の確保（予備面人材面） ・中学校の生徒（通学生）の受け入れ体制 （1日小中学校で学ぶよりも、給食から在籍中学校に戻す、部活動に参加できる等の配慮） ・小学生向けの教室として開始した為、中学生向けのカリキュラムを検討中。
15	知立市	知立市教育委員会学校教育課	早期適応教室			有	外国人児童生徒へのきめ細やかな支援事業費補助金	知立市内小中学校に在籍する児童生徒（小1～中3）	なし	杜若教室（知立市立知立東小学校内）	休業日を除き年間を通して開室	約3か月	約60回	8：20～15：00	26人	ブラジル、フィリピン	愛知県作成 プレスクール実施マニュアル	初期の日本語指導 文字指導 算数・数学（おもに計算指導） 日本の学校の生活指導	【プレクラスの増設】 小1～中3が在籍する可能性があるが、年齢差が大きく、入室時期も異なるため、限られた指導員で効率的に指導するのが難しい。中学生を対象としたプレクラスを設置することが望ましい。 【通訳機器の充実】 ベトナム語など、通訳がない言語を母語とする保護者に対応するため、通訳機器（ポケトークなど）を充実させることが望ましい。

16	高浜市	高浜市教育委員会 学校経営グループ				無		7歳から15歳 (小学校1年生から 中学校3年生)	約10人	市内2校の小学校の教室	休業日を除き年間を通して開室	3か月	約60回	3時間	16人	ブラジル	無	平仮名・片仮名50音の読み書き、日常会話、学校に 関係するものの名前・身近なものの名前の読み、1年生 の漢字	通訳さんが入っていただける機会があると助かるが、 現在様々な国からの転入が増えているため、対応が難 しい。また、日本語が理解できないのか、発達障害の ため理解ができないのかの判断が難しい。
17	岩倉市	学校教育課	岩倉市学校生活適応 指導教室			無		7歳～15歳 (小中学校在学期 間)	必要と判断した児童生 徒全員	岩倉市立岩倉東小学校	休業日を除き年間を通 して開室	原則1か月 (最長2か月)	午前中4時間 (8:45～12:25)を 必要なだけ	午前中4時間 (8:45～12:25)	20人	ブラジル、 フィリピン	日本語・教科テス ト：10点以下入室 (100点満点)	学校でのルール、ひらがな、日常会話	特になし。
18	豊明市	学校教育課	定住外国人日本語教 育推進プレクラス・ プレスクール事業			無		6～15歳	45人/年	委託先店舗、 市内小学校(1校)	休業日を除き年間を通 して開室	3～6か月	60～120日	2～4単位時間	18人	ブラジル、 ベトナム、 ペルー、 中国、 フィリピン	DLA	文字指導(ひらがな・カタカナ・漢字1～2年生)/文 法(日本語学級2+教材『こどものほんご』) 読解/聴解/作文/語彙指導など ※カリキュラムは別に独自作成	・保護者が実施場所まで児童生徒の送迎ができない場 合、指導が受けられない。 ・日本語指導が必要な児童生徒の増加に伴う日本語講 師の確保。 ・日本語講師の増加に対する委託費の充実。
19	みよし市	みよし市教 育委員会 学校教育課				無		市内小中学校に在 籍している児童・ 生徒	なし	みよし市教育センター及び三好丘小 学校内	休業日を除き年間を通 して開室	原則3か月 (必要に応じて延長 を可とする)	約60回 (3か月で通級す る日数として)	9:00～15:00	34人	ブラジル、 フィリピン、 中国、 ペルー	無	日本語初期指導、文字の指導(ひらがな、カタカナ、 小学1・2年生程度の漢字)、教科の勉強、基本的な生 活指導	・日本語初期指導を終えた児童・生徒が学校で生活し 始めるとき、接続が上手くいくように配慮している が、学校での学習になると専門用語が出てきたり授業 のスピードについていけなかったりと困る生徒がいる ことが課題である。 ・日本語初期指導を必要とする外国人の転入等は増加 傾向にあり、現在の場所やスタッフだけでは対応が困 難になりつつある。

2-2 プレクラスの実施状況について(2021年度、新規で実施予定)

1	半田市	教育委員会 教育部 学校教育課	日本語初期指導事業 (事業名)	委託	未定	有	愛知県外国人児童生 徒日本語教育支援事 業費補助金	6～15歳	15人(予定)	未定	未定	3か月 (予定)							次年度から実施予定だが、設置場所や対象児童生徒の 優先順位の検討に苦慮しています。
2	大府市	学校教育課	初期指導教室(一般 名称で呼称してい る)			活用予定	外国人児童生徒日本 語教育支援事業費補 助金	6歳から15歳	1回3人程度、年間9 人程度	小中学校	4月～7月、9月～12月、 12月～3月 (いずれも予定)	約3か月	約36回	約4時間	—	—	—	開設前につき調整中	日本語をほとんど話せない児童生徒に対しては、通常 の学校内の日本語指導教室よりも初期指導教室に指導 上の優位性があることを説明することが難しく、理解 が得られにくい。